

第 1 回浦和区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見

【 I 】 浦和区における「課題」、「将来への期待」、「まちづくりのポイント」に関するご意見

- ※黒字は区検討懇話会、赤字は市民ワークショップからの主な意見。
 ※「まちづくりのポイント」、「将来像」、「その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）」の視点で分類した。
 ※網掛けは、「区の将来像たたき台（案）」（資料 2）作成の際、特に留意した意見。
 ※「まちづくりのポイント」に関する主な意見は、現行の後期基本計画の該当する「ポイントの説明書き」で分類した。（資料 2 の「（ ）」の番号を参照）
 また、意見が複数の説明書きに該当する場合は、【 】で該当する説明書きの番号を記載。
 【例】【1 - 1・4】は、「まちづくりのポイント 1」の「説明書き（1）と（4）」にそれぞれ該当。

1 世代や文化、地域を超えた多様な交流のあるコミュニティづくり

1 まちづくりのポイントのタイトルがもう少し短くてもよいのでは。【1、2、3】

(1) 身近な地域での交流や活動の活発化によるコミュニティ意識の醸成

- 1 若い人が地域に参加するようするには、都内で働いている人たちの地元愛を育む必要があり、その方法を検討すべきであろう。
 2 自治会については「まちづくりのポイント 1」で、自治会活動を通じて、という言葉を入れたりしてはどうか。
 3 若い人を地域に入れるのは難しいが、自治会では毎年 1 人か 2 人携わって貰うことで絆が生まれている。

4 地域コミュニティのためのイベント 【1-1、1-4】

5 子どもと高齢者の交流イベント 【1-1、1-2、1-4】

(2) 地域住民が交流し、地域をより深く知り、考える場や機会の積極的な創出

- 1 高層マンションが非常に増えている中では生活文化が異なる人々が多く入ってくることが予想され心配している。【1-2、5-1】

2 子どもと高齢者の交流イベント 【1-1、1-2、1-4】

(3) 地域住民と行政の協働を実現するための環境の整備

- 1 地域リーダーとして若い人を育成する必要がある、中学生、高校生が区政に参加する仕組みが必要では。

2 市役所の広場の有効活用（イベントを増やす）

(4) 世代や文化、居住する地域など様々な差異を超えて人々がふれあい、誰もが楽しく活動し、人々の理解と共感が広がるまちづくりの推進

1 若い人に浦和区に興味を持ってもらう必要がある。 【1-4、2-4】

2 地域コミュニティのためのイベント 【1-1、1-4】

3 子どもと高齢者の交流イベント 【1-1、1-2、1-4】

4 新たな住人達の入りやすい地域活動

2 文教都市などの「浦和ブランド」を活用した魅力あるまちづくり

1 まちづくりのポイントのタイトルがもう少し短くてもよいのでは。【1、2、3】

(1) 子どもたちの夢と希望をはぐくむ、地域に密着した教育の推進

1 小学校6年生でサッカー大会を行い卒業するというのは日本全国でも浦和だけ。
このような小さなころからの取組みがまちの歴史につながるのでは。

【2-1、2-3、2-4】

2 浦高に入れるために浦和に引っ越す人もいと聞くので、文教都市として浦高や一女をもう少しPRしてはどうか。

3 子どもたちにうなぎの食文化を覚えて貰いたいと考えており、給食で安全で安価にうなぎを提供する方法を検討している。

4 食を通して勉強すること、仕事をするなど子どもに教えてきたが、この様な取組みが皆に伝わればと考えている。

5 文教都市として有名で教育面では安心 【2-1、2-2、2-3】

6 子どもが多い

7 学校の強化（ソフト面、ヒト、コト）

(2) 生涯を通じた学びの場と機会の拡充

1 文教都市として有名で教育面では安心 【2-1、2-2、2-3】

(3) 恵まれた伝統ある教育・文化・スポーツ資源を活用した、芸術・文化活動の振興

1 新しい住民が増える中で、まちの文化・歴史を知った上で新しいことにチャレンジすることが重要と考えている。

2 小学校6年生でサッカー大会を行い卒業するというのは日本全国でも浦和だけ。
このような小さなころからの取組みがまちの歴史につながるのでは。

【2-1、2-3、2-4】

3 文教都市として有名で教育面では安心 【2-1、2-2、2-3】

(4) 旧中山道や神社仏閣が伝える歴史、サッカーやうなぎのまちとしての特性などを生かした区の魅力の向上と情報発信力の強化

- 1 うなぎを含め浦和区として、地域の魅力として発信したいものの広報の方法を工夫すべきでは。
 - 2 ケーキやパンの消費量が全国 1 位、2 位だとテレビの情報番組で聞いており、そのような点に焦点を当てるべきでは。
 - 3 うなぎの店舗が少なくなり知名度の減少につながっている。
 - 4 うなぎ以外の名産も売り出していけば区のイメージ向上になるのではないか。
 - 5 若い人に浦和区に興味を持ってもらう必要がある。【1-4、2-4】
 - 6 まちの文化・歴史の情報発信の方法が重要になる。
 - 7 小学校 6 年生でサッカー大会を行い卒業するというのは日本全国でも浦和だけ。このような小さなころからの取組みがまちの歴史につながるのでは。
【2-1、2-3、2-4】
 - 8 自治会でウォーキングをし、うなぎを食べに行くイベントを開催したが、参加した小学生も喜んで食べていた。そういったことを通じて広げていくのも一つの手だと思う。
 - 9 ポイント 2 について、浦和のブランドの中でケーキやパンを加えることを検討してはどうか。
 - 10 食文化という言葉で「ポイント 2」に入れたり、マンションに関連し「ポイント 5」の中で「景観をこのように考えます」と入れる。【2-4、5-1】
- 1 1 サッカーで有名
 - 1 2 うなぎはそこまで有名じゃない
 - 1 3 うなぎ以外の名産品のアピール
 - 1 4 その他ベッドタウンとの差別化

3 東西が連携し、一体性と「にぎわい」のあるまちづくり

- 1 まちづくりのポイントのタイトルがもう少し短くてもよいのでは。【1、2、3】

(1) 鉄道を挟んだ東西連携による一体的なまちづくり

(2) 駅周辺などにぎわいの拠点や商店街の持つそれぞれの魅力を再発見、活用した、誰もが訪れやすい活気のあるまちの再生と創出

- 1 自治会、商店街の組織的な活動が難しくなっている。商店街にチェーン店が増加していることも一因になっている。
- 2 若い人たちが集まるまちづくりが必要になる。
- 3 商店街の活性化には魅力あるまちづくりが課題だが、商店街だけでなく区民全体の課題だと思う。
- 4 商店街は子どもの見守りや対話が生まれる場であるなど、まちが一体化する原点であった。

5 商店街の活性化には基盤となる人対人の関係が大事になる。

6 駅前の商業施設が充実している

7 商店街の衰退

4 ひとにやさしい誰もが安心して暮らせるまちづくり

(1) 交通事故、犯罪などの危険や騒音のない、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

1 まちの在り方としては安全安心を第1に考えることも1つの方法では。【4-1、4-2】

2 道路の段差や交通マナーが気にかかる。マナーや食文化を伝えていくには小さいところからの教育が重要になる。 【4-1、4-3】

3 治安が良い

4 通学路など危険だと感じるところが多い 【4-1、4-3】

(2) 災害に強く、安全、快適な都市空間の創出

1 まちの在り方としては安全安心を第1に考えることも1つの方法では。【4-1、4-2】

(3) 誰もが安心して移動できる環境の整備

1 道路の段差や交通マナーが気にかかる。マナーや食文化を伝えていくには小さいところからの教育が重要になる。 【4-1、4-3】

2 地元に坂が多く、高齢者の買物が難しくなっている。

将来像についてはこの様な買い物難民についての対策も考えていただきたい。

3 駅周辺の環境（自転車、渋滞）

4 通学路など危険だと感じるところが多い 【4-1、4-3】

(4) 仕事と介護や子育ての両立支援を含む、高齢者や障害者、子育てに対する総合的な支援体制の充実

1 保育園、学童（放課後児童クラブ）の不足 【4-4、4-5】

2 保育所の整備、保育士の確保。または子どもと高齢者のマッチング

(5) 高齢者や障害者の自立と支援、子育てなどを互いに助け合い、誰もが元気に活動できる地域づくり

1 保育園、学童（放課後児童クラブ）の不足 【4-4、4-5】

5 緑豊かな美しい街並みとゆとりある住環境を創出するまちづくり

(1) 中高層住宅と周辺環境とが調和した、ゆとりと潤いのある住環境の維持・創出

1 高層マンションが非常に増えている中では、生活文化が異なる人々が多く入ってくる事が予想され、心配している。【1-2、5-1】

- 2 食文化という言葉が「ポイント2」に入れたり、マンションに関連し「ポイント5」の中で「景観をこのように考えます」と入れる。【2-4、5-1】
- 3 外国人も含め多様な人が入ってきている。またマンションが立ち並び景観も失われている。
- 4 浦和駅西口の再開発で浦和駅周辺が変わっていけば浦和区も変わっていくのではないかと。

(2) 緑豊かな美しい街並みづくりなど、地域の環境向上に向けた住民参加による取組の推進

- 1 緑が減ってきているように感じるが、公園にも緑を増やし子どもたちが自然の中で暮らすようにすれば、両親もずっと住み続けたいと思うのでは。

【Ⅱ】「浦和区の将来像」の見直しに関するご意見

- 1 **郷土愛**、住む人が街を愛する、といった言葉を区の将来像のタイトルの下に入れる。

【Ⅲ】その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）

- 1 マンション建設が都市計画に基づいているのかが気にかかる。
- 2 この会議は、後期基本計画の中で良いところを伸ばし悪いところを改善する、という議論の場にしたい。
- 3 まちの評価をするときに他市との比較を行う方法がある。
- 4 商店街の賑わいが無いことについては、テナント料が非常に高いことが原因の1つとしてある。
- 5 昔からの商店は高齢化し、後継ぎがないことが課題となっている。
- 6 ポイント1について、「地域住民と行政の協働を実現するための環境の整備」は非常に大切で、ごみゼロ運動などの取組みを増やしていく必要があり、具体的な表現方法についてご検討いただきたい。
- 7 ポイント1について、「地域住民と行政の協働を実現するための環境の整備」の中で、公的な施設、スペースについて、使用の条件を緩和し行政と住民と一緒に活動できるようにしていただきたい。
- 8 住民のアイデアが自由に言えるような仕組みや意見が吸い上げられるような仕組みがあれば良い。
- 9 今日出たキーワードが計画の中に入れることができると考えている。

1 0 東京への交通の利便性

1 1 大きな公園や自由に遊べるスペースが少ない

1 2 外国人の積極誘致（定住者の増加）